

障がい者・「夢大使」

任期：2019年12月1日～2021年11月30日

瑞宝太鼓

ずいほうだいこ

希望し、努力し、
感謝して生きる夢大使



1987年に雲仙市瑞穂町にて、障がい者の和太鼓クラブとしてスタート。2001年にプロとしての活動を開始する。刑務所や少年院等の慰問公演や東日本大震災の被災地への支援活動等、社会貢献活動を積極的に行う。2017年10月にはフランス ナント市で公演し、大盛況。「希望し、努力し、感謝して生きる」を合言葉に、多くの人に夢と希望を与え続けている。



たくさんの人に
元気と希望を伝えたい。
障がい者・「夢大使」は
自らの生き方を知っていただく
ための活動を行っています。



独自の洞察力と色彩感覚
感性溢れる夢大使

犬塚弘さん

いぬづかひろし

1968年生まれ。幼少の頃から絵画に目覚め、植物や風景の絵を描くようになった彼は、突然酒びんの虜となる。以後、酒びんを好んで描くようになった。彼の酒びんの絵は、鋭い洞察力で自分の見た記憶をたどり、細かいところまで描かれている。独自の洞察力、色彩感覚等の感性に触れ、彼にしか表現することのできない酒びんの魅力を感じて頂きたい。



重い障がいがありながらも
「ふつうの場所」で、
「ふつうの暮らし」を実現した夢大使

清水武寿さん

しみずたけひさ

1959年生まれ。皆を元気づける「素敵な笑顔」の持ち主。歩くこと、食すること、お日さまの光に当たること…。生きることの奇跡を、身をもって教えてくれた素晴らしい人物。私たちは彼を「教師」と呼ぶ。障がいは重くても「ふつうの場所でふつうの暮らし」を実現できたことに多くの支援者たちが学んできた。

障がい者・「夢大使」は、障がいのある人の想いや願い、生き方、希望を持ち努力することの大切さを伝える活動を行っています。